

●公民館

1. 施設概要

公民館は、地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とした施設です。

施設内では高齢者学級の実施や定期講座の開催、講演会等、主催事業の開催や、自主サークルや地域住民等に施設（スペース）を提供する事業を行っています。

(1) 施設一覧

公民館は市内に公民館本館1館と4分館があります。公民館本館は福社会館内に設置しています。貫井南分館、東分館、緑分館の3分館は各地域センター内に設置しており、図書館分室や児童館と併設しています。

平成26年度に「(仮称) 貫井北町地域センター」が開館する予定です。

表 施設一覧

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	併設施設			備考
				図書館	児童館	その他	
1 本館	中町4-15-14	672.20	昭和42			● 福社会館	福社会館 3.4階部分
2 本町分館	本町2-15-11	371.96	昭和47				都営住宅1階部分
3 貫井南分館	貫井南町4-3-23	730.95	昭和47		●		貫井南センター内
4 東分館	東町1-39-1	1,013.26	昭和63	●			東センター内 都営住宅1.2階部分
5 緑分館	緑町3-3-23	1,279.28	平成3	●			緑センター内
合計		4,067.65	—				

—	(仮称) 貫井北町地域センター	貫井北町1-587-10	1,985.00	平成26 開館予定	●			図書館部分含む
---	-----------------	--------------	----------	--------------	---	--	--	---------

(2) 開館時間・休館日・年間運営日数

- 開館時間：午前9時～午後10時（1時間単位での利用）
- 休館日：毎月第1・第3火曜日、年末年始（12月29日～1月3日）
- 年間運営日数：335日（平成22年度）

(3) 予約方法・利用登録・使用料金等

公民館の利用には利用登録が必要です。利用登録できる団体は構成員5人以上の団体（新規登録に限り3人以上でも可）、構成員の半数以上が市内在住、在勤、在学者等が対象となります。

利用登録を行った団体は予約の申込みなどを、パソコン・携帯電話等から「小金井市公共施設予約システム」を利用して行うことができます。または、公民館内に設置している予約システム端末や窓口で同様の申込みができます。

1 利用登録団体で利用できる回数は、市内全館で月4回以内（16時間以内）となっています。（緑分館のテニスコートは月3回以内（6時間以内）です。）

① 使用の申請（予約方法）

- ・ 利用登録団体は、使用日3か月前の属する月の20日から3か月前の末日まで抽選予約申込みが行え、使用日2か月前の属する月の10日に抽選結果が発表されます。翌11日から随時予約受付が可能となります。

	3ヶ月前	2ヶ月前	1ヶ月前	使用月
利用登録団体 ・5人以上で構成 ・構成員の半数以上が市内在住、在勤、在学者 ・代表者又は連絡責任者が市内在住 ・中学生の団体は市内在住、在学者	20日 抽選申込み	10日 抽選	随時申込み期間	使用日 前日

② 使用料

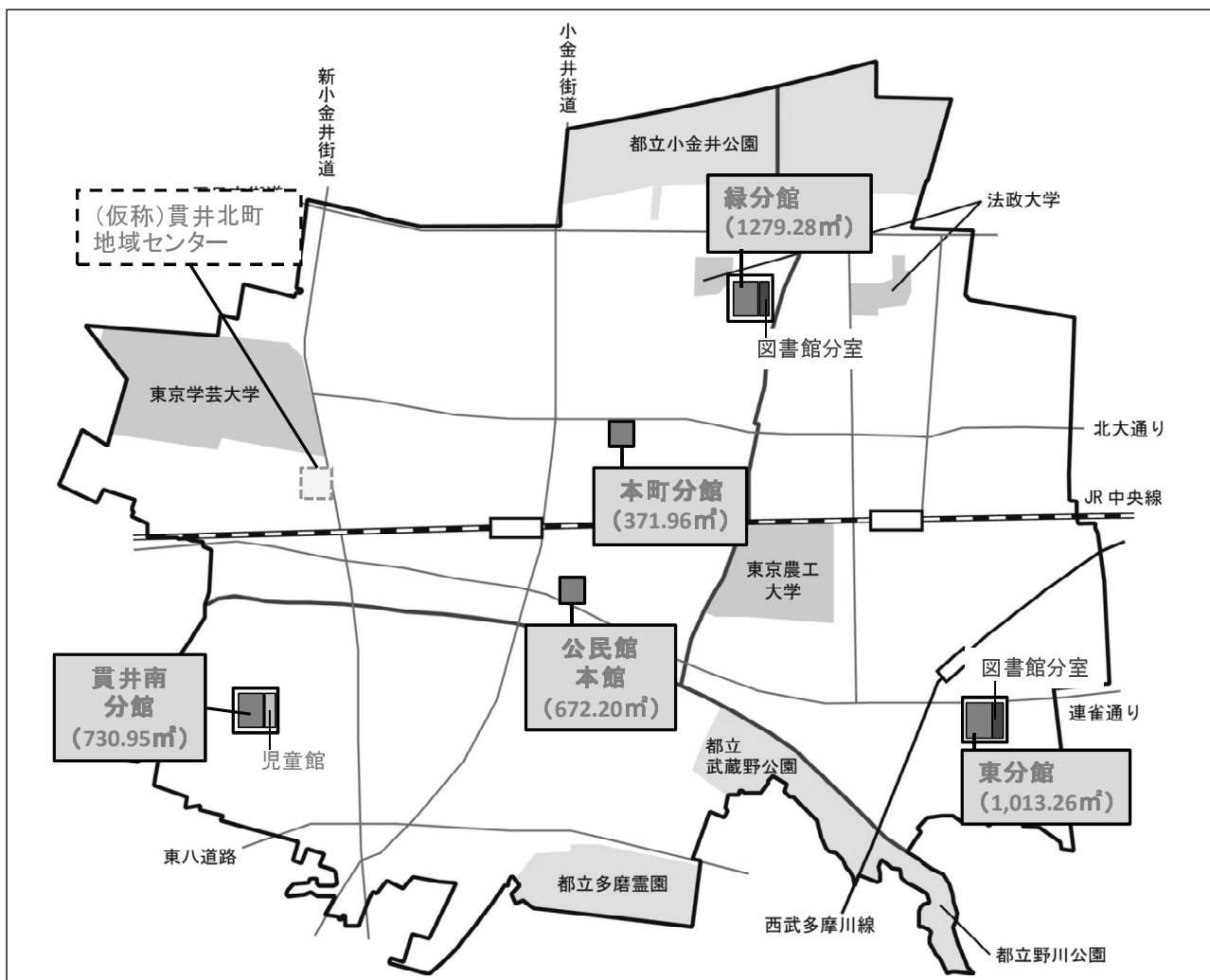
無料

(4) 主催事業の事業内容

公民館は、主催事業として以下のような事業を実施しています。

主催事業の事業内容	少年教育事業	子どもの人権講座、子ども体験講座
	青年教育事業	障害者青年学級、国際交流事業、国際交流講座等
	男女共同参画事業	男女共同参画講座
	成人教育事業	高齢者学級、市民講座、成人大学、成人学校、まちづくり講座等
	陶芸入門	陶芸入門教室
	文化活動・芸術鑑賞・まつり・つどい	各公民館・分館まつり、音楽鑑賞のつどい等
	多摩島しょ地域力向上助成事業	高齢者の生きがいづくり講座、団塊世代地域デビュー講座等
	市民がつくる自主講座	元気な体づくり講座、パソコン教室、史蹟めぐり学習会等
視聴覚ライブラリー事業	市民映画会等	

図 公民館配置図



※ (仮称) 貫井北町地域センターは平成 26 年度開館予定です。

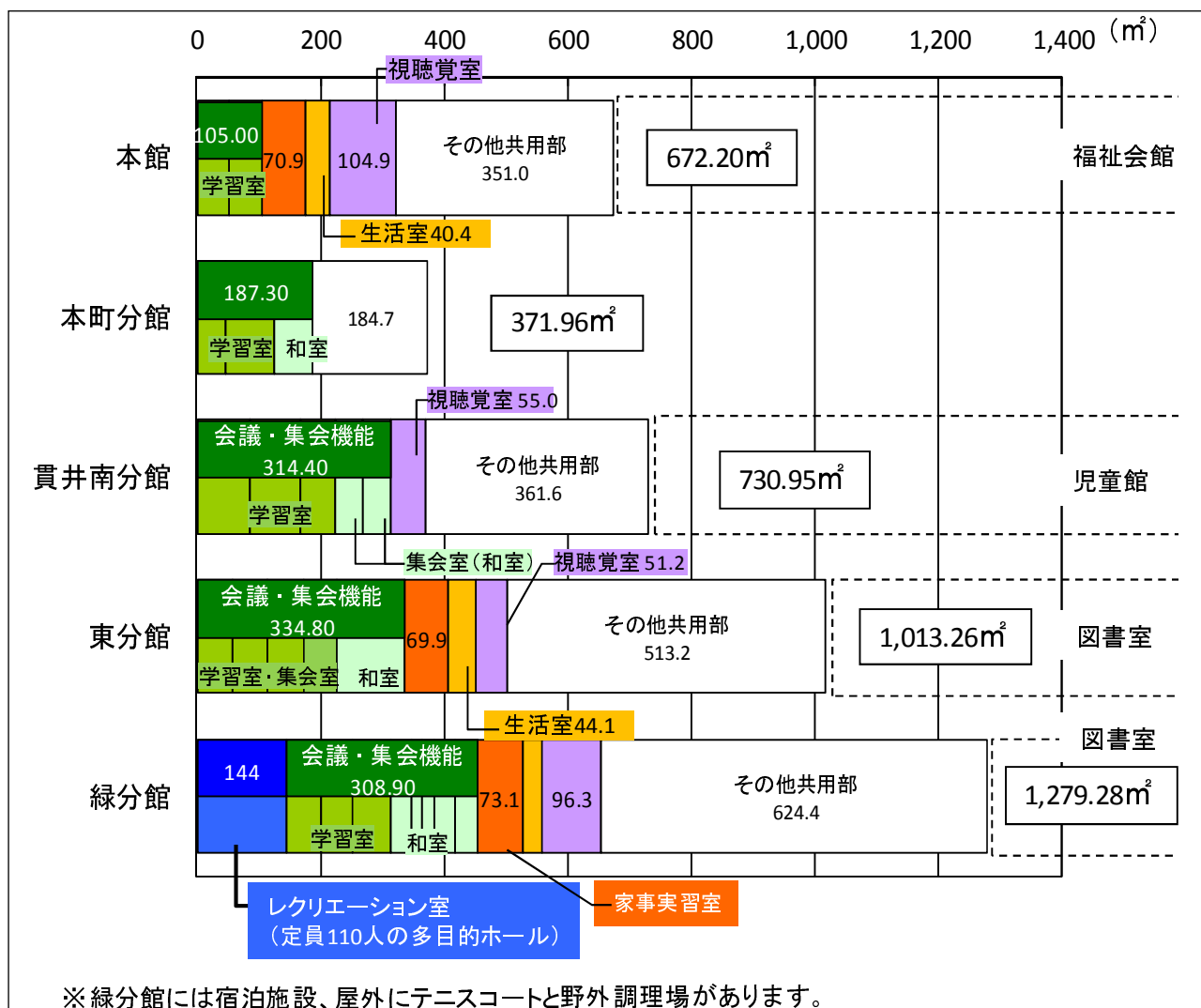
(5) スペース構成

公民館の規模は、最も小さい施設である本町分館の 372.0 m²から最も大きい施設である緑分館の 1279.3 m²です。1 施設当たりの平均は約 813.5 m²となります。

会議・集会機能としての学習室・集会室及び和室を中心とした施設です。その他に調理実習室、生活室及び視聴覚室を保有しています。

各施設のスペース構成をみると、本町分館は会議・集会機能のみの施設となっています。最も新しい緑分館にはダンス等の軽微な運動ができるレクリエーション室があります。

図 スペース構成



2. 実態把握

(1) 建物状況

公民館5施設のうち、耐震安全性が確保されていない施設は福祉会館内にある公民館本館及び本町分館の2施設です。本町分館につきましては、平成23年度に耐震補強工事を行いました。市全体の計画では平成27年度までに耐震安全性を確保する計画です。その中で、今後、建替え又は大規模改修を含めた耐震安全性確保の検討が必要となります。また、建替え又は大規模改修時にはバリアフリー対応や省エネ・断熱化等の環境対応も検討する必要があります。

東分館は築20年以上を経過しており、今後、大規模改修等の老朽化対策の検討が必要になってきています。

他の2施設については、今後、一部バリアフリー化や環境対策が必要となっています。また、維持管理費については、本町分館が比較的割高になっており、その原因の調査や改善が必要です。

図 建物総合評価結果

	パターン① 耐震性 老朽化	パターン③ 今後 老朽化	パターン④ バリアフリー・環境対応
評価	<p>・耐震安全性が確保されていない。 ・さらに、老朽化が進行している。 ⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設</p>	<p>・老朽化が進行している。 ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリー又は環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p>
該当施設	<p>該当施設 建築年 本館 昭和42 本町分館 昭和47</p> <p>< 2 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年 東分館 昭和63</p> <p>< 1 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年 貫井南分館 昭和47 緑分館 平成3</p> <p>< 2 施設 ></p>
コメント	<p>・旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、耐震化と老朽化対策が必要です。</p>	<p>・築20年を超えており、大規模改修等の計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・大規模改修した施設ですが、バリアフリー又は環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>
維持管理費が割高な施設	<p>・右記の施設は、維持管理費が公民館5施設内の平均値より4割以上高くなっています。保有設備や整備状況が要因となっている可能性が考えられますので、以下のような点について検証が必要です。</p> <p>・各所の老朽化により、修繕頻度が高くなっている。 ・古く効率の低い設備が使用され続けて利用していない施設や設備に多額の管理費がかかっている。</p> <p>< 1 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年 本町分館 昭和47</p> <p>< 1 施設 ></p>	

※本町分館は、1階部分のみのためエレベータは評価対象外

(2) 利用状況

① 全体の利用状況

平成22年度の全体の利用状況は、合計1万9,254件の利用があり、利用者数は28万444人となっています。

利用目的別の予約状況では、公民館・分館の主催事業が734件(約4%)、貸館事業が1万8,520件と全体の約96%を占めています。貸館事業のうち、市等の行政利用が1,086件となっています。

公民館・分館の利用のうち、約91%が市民によるサークル活動等での貸館事業の利用であることがわかります。

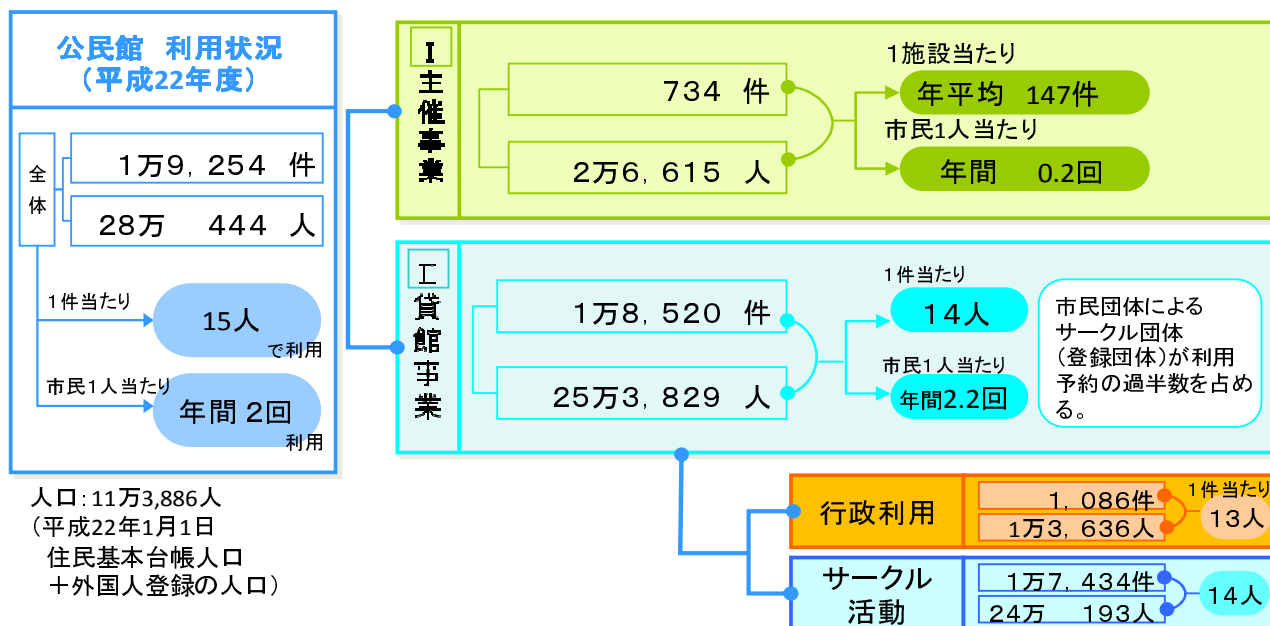
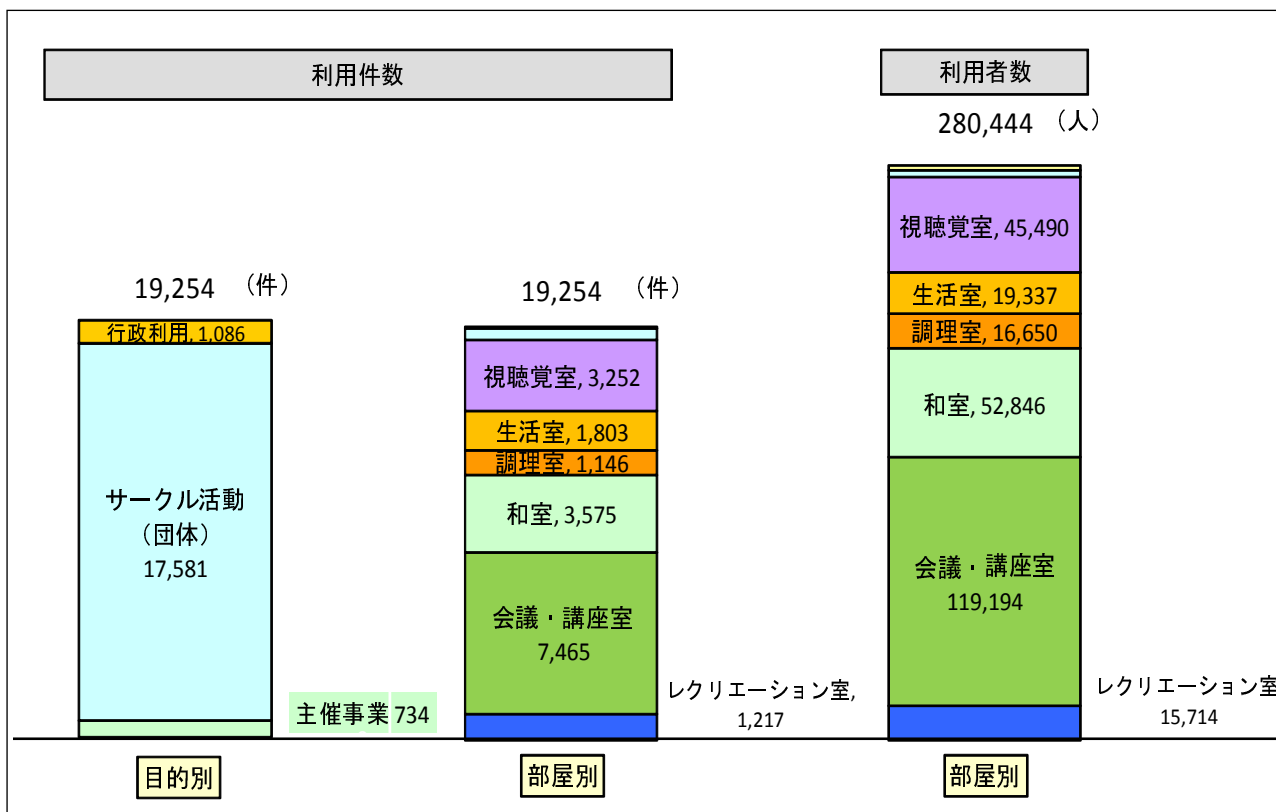


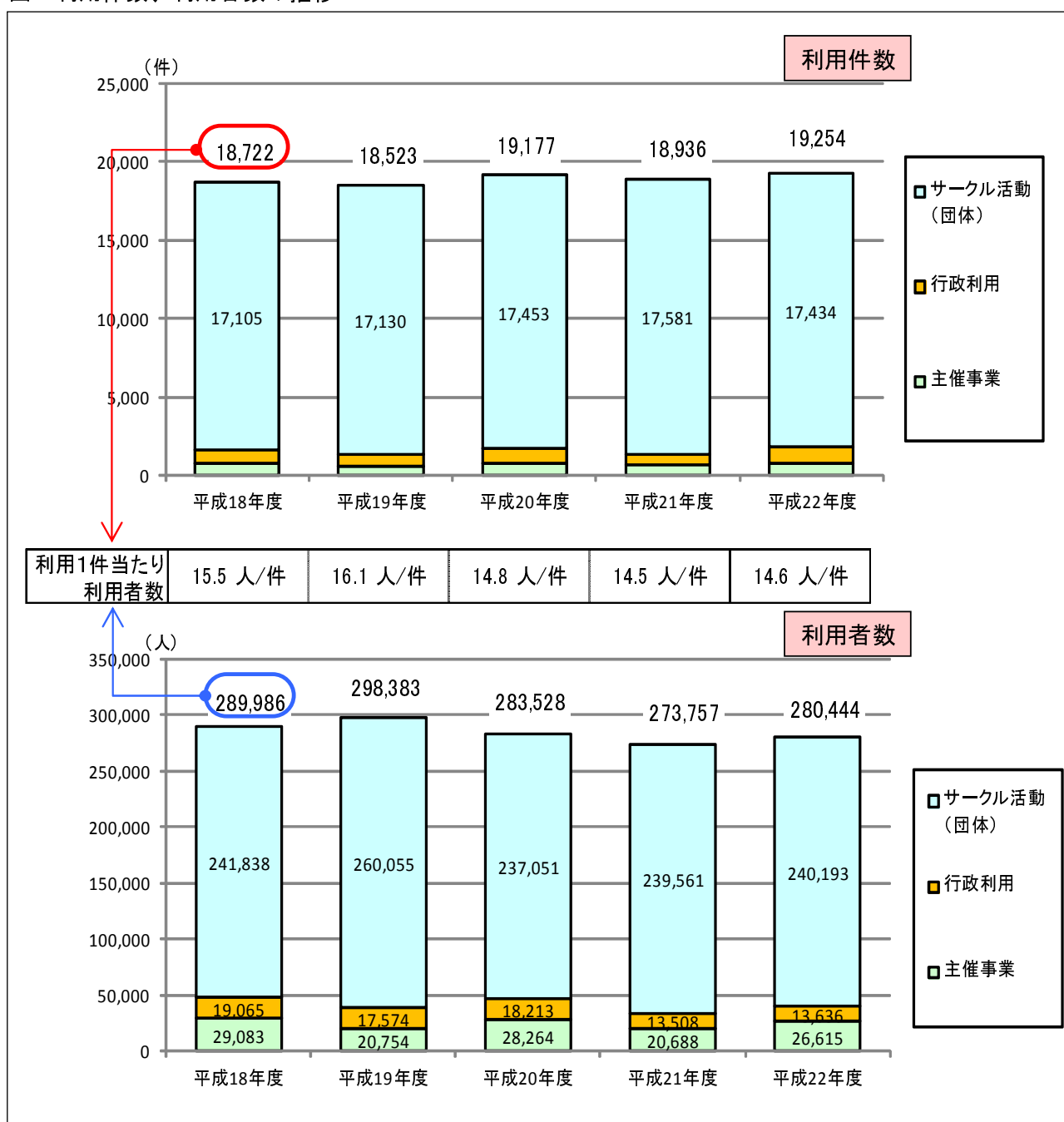
図 目的別利用件数・部屋別利用件数及び利用者数 (平成22年度)



② 利用状況の推移

目的別の利用件数の推移をみると、平成18年度以降は横ばい傾向となっています。目的別の内訳をみると、サークル活動による貸館事業の利用が中心となっています。利用1件当たり利用者数をみると、毎年約14人から約16人までで推移しています。

図 利用件数、利用者数の推移

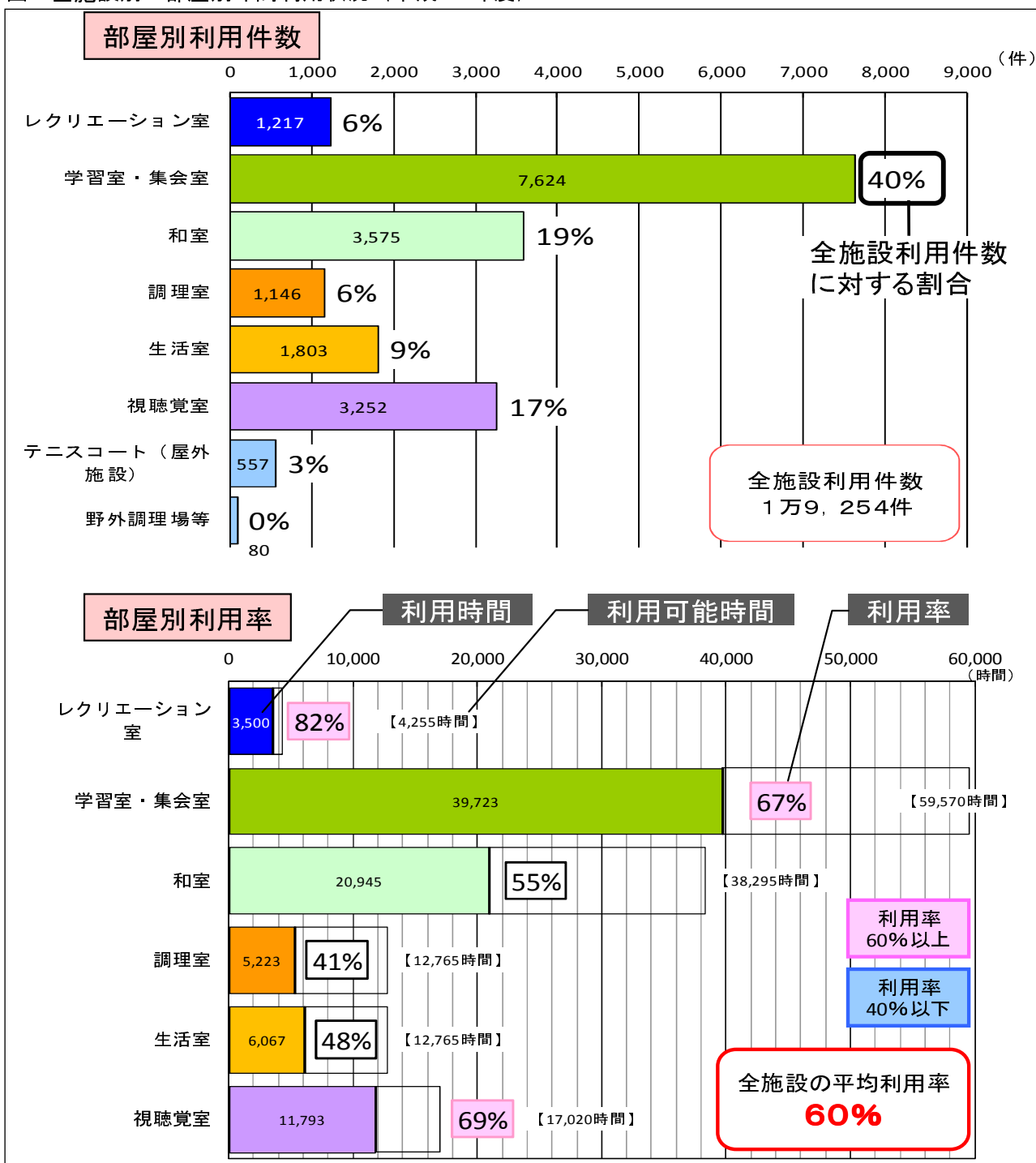


③ 全体の部屋別利用状況

平成 22 年度の利用件数は 1 万 9,254 件のうち、学習室・集会室の利用が 7,624 件と、全体の約 40%を占めています。次いで、和室（3,575 件）、視聴覚室（3,252 件）の順で利用されています。

全体の年間利用率は約 60%となっています。部屋別の年間利用率をみると、全体の利用件数の 40%を占める学習室・集会室は約 67%となっています。和室は約 55%、視聴覚室が約 69%、レクリエーション室は約 82%となっており、40%を切るような低い利用率の部屋はありません。

図 全施設別 部屋別年間利用状況（平成 22 年度）



④ 施設別 年間利用状況

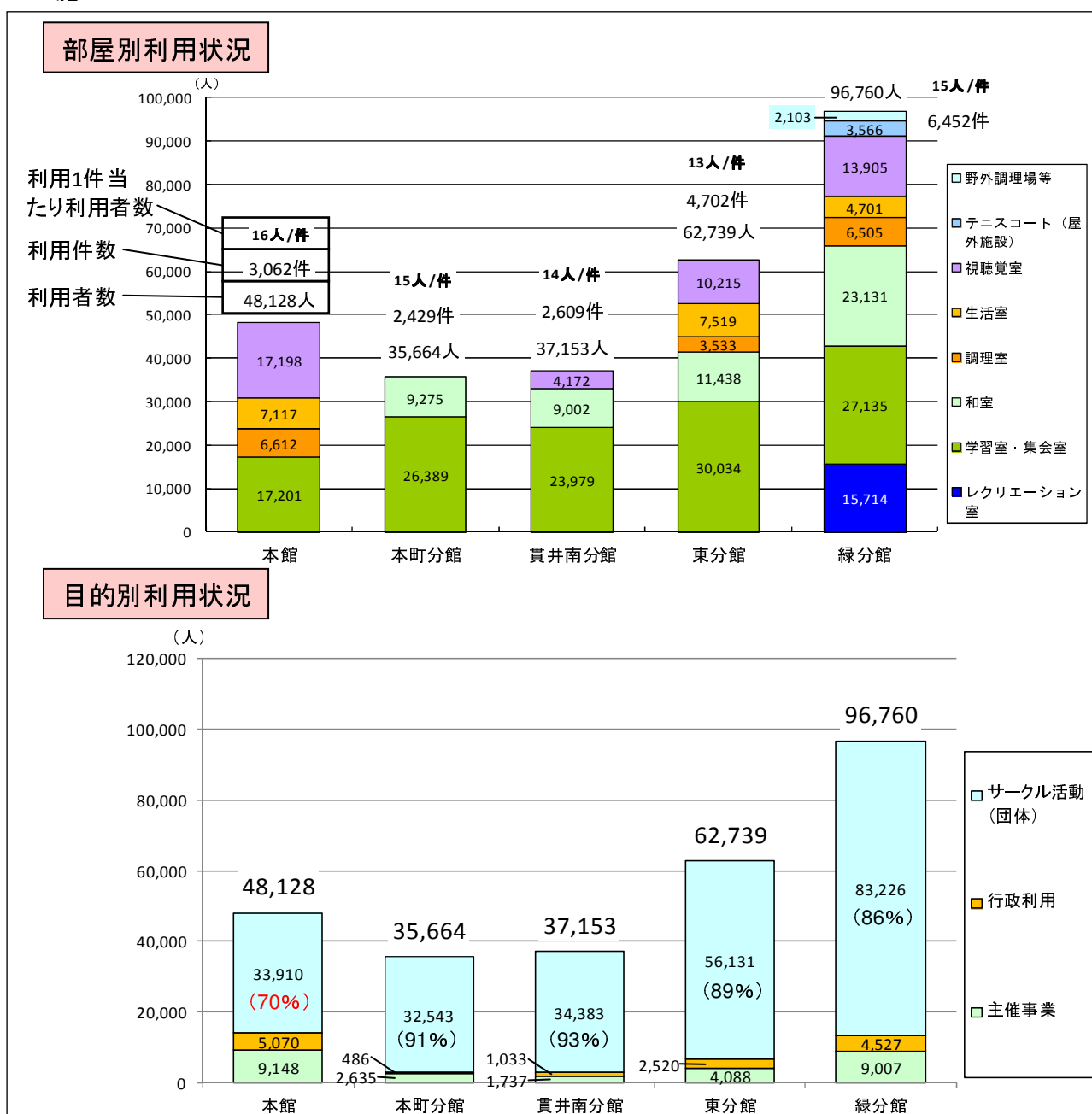
施設別の利用者数をみると、最も少ない施設は本町分館で3万5,664人、最も多い施設は緑分館で9万6,760人となっています。両館の差は約2.7倍となっています。

利用1件当たりの利用者数は、各施設とも13人から16人までとなります。

部屋別の利用内訳をみると、各施設ともスペース構成と同様に会議・集会機能の諸室（学習室・集会室、和室）が中心となっていますが、本館は視聴覚室の割合が多く、緑分館はレクリエーション室や視聴覚室の利用が多いことがわかります。

目的別の利用内訳をみると、各施設ともサークル活動による貸館事業の利用が中心となっています。施設別にみると、本館の行政利用や主催事業の利用が比較的多くなっています。

図 施設別 年間利用状況（平成22年度）



⑤ 施設別 利用率

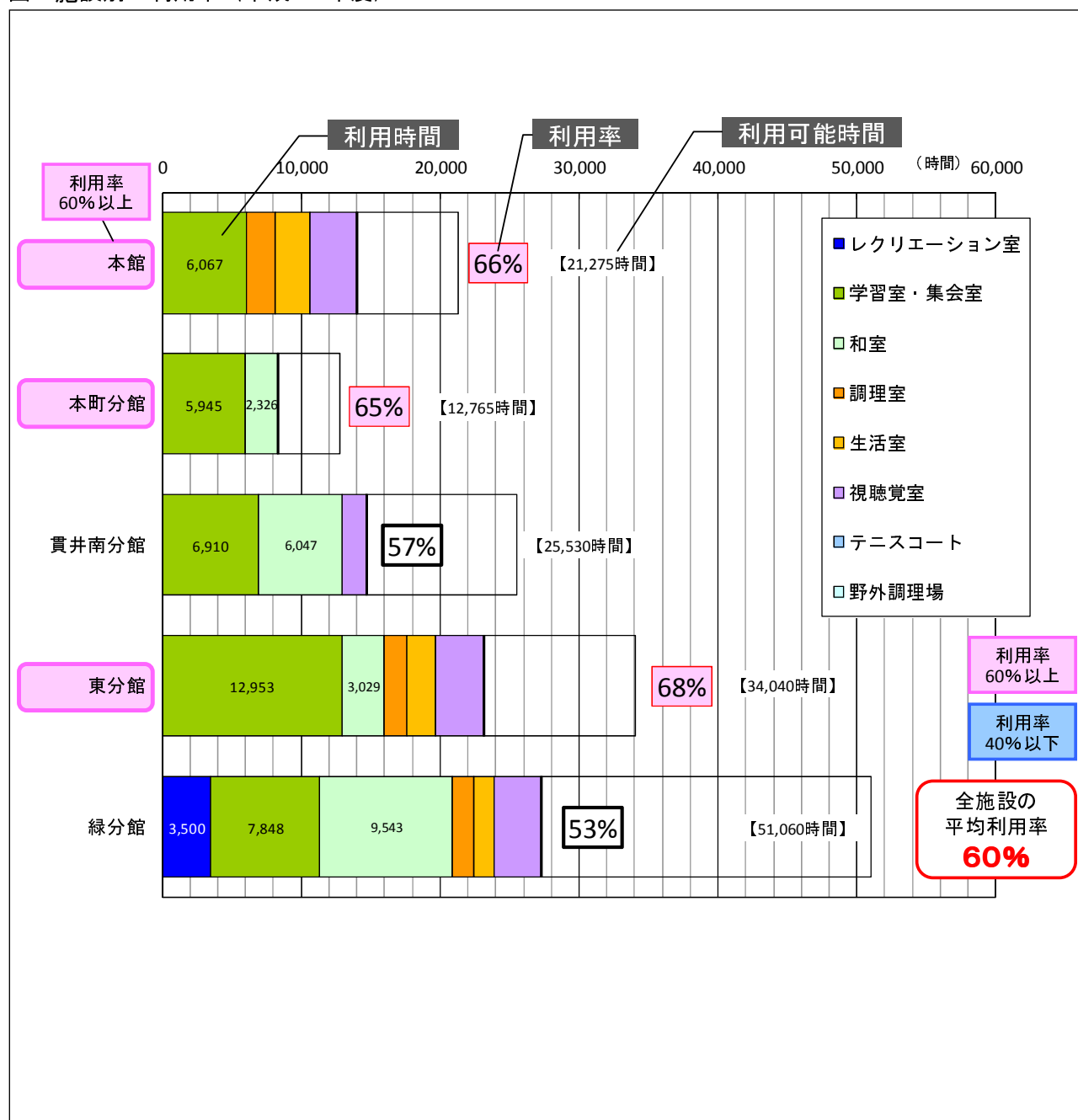
施設別の利用率は、本館や本町分館、東分館が利用率 60%以上と高くなっています。最も低いのは緑分館で約 53%です。

利用件数が最も多い緑分館ですが、その分学習室・集会室や和室等の部屋数が多く、利用できる時間数が他の施設より多くなっており、施設全体の利用率としては低くなっていることが分かります。

部屋別の内訳をみると、学習室・集会室の利用が中心となっており、調理実習室や視聴覚室、レクリエーション室の割合が低くなっています。

これは、学習室・集会室や和室は複数の部屋をつなげて同時に使用することが多く、同じ 1 件でも他の部屋より多くの時間利用されているためです。

図 施設別 利用率（平成 22 年度）



⑥ 部屋別の利用状況

部屋別の利用可能時間と利用時間数より利用率を算出すると、東分館の家事实習室（調理室）や緑分館の家事实習室（調理室）、生活室、研修室C（和室）は稼働率が40%未満と低利用となっています。

図 施設別部屋別 利用率（平成22年度） (時間)

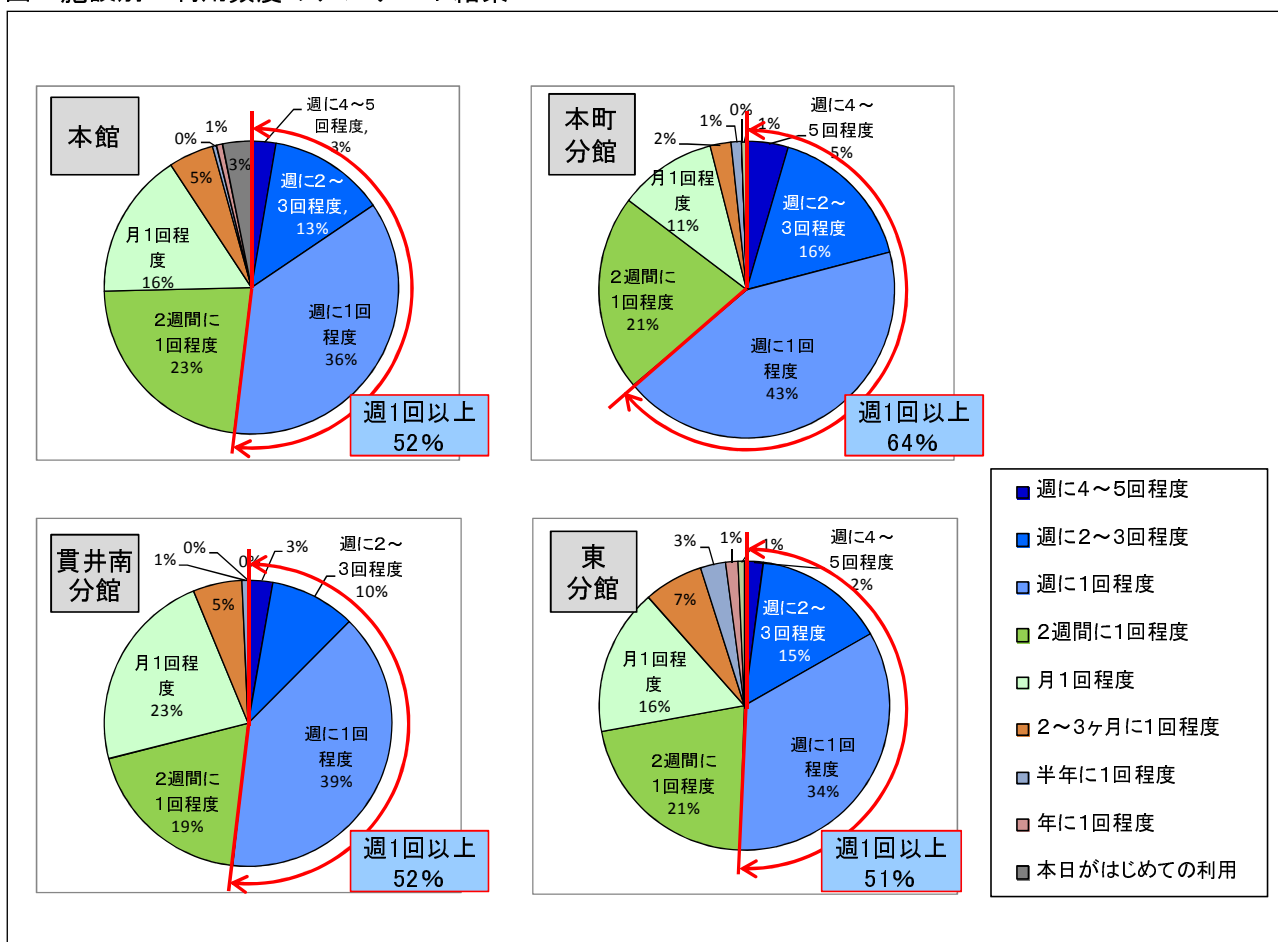
		利用可能時間	利用時間	利用率
本館	学習室A	4,255	3,087	73%
	学習室B	4,255	2,980	70%
	家事实習室	4,255	2,059	48%
	生活室	4,255	2,479	58%
	視聴覚室	4,255	3,390	80%
本町分館	学習室A	4,255	2,777	65%
	学習室B	4,255	3,168	74%
	集会室	4,255	2,326	55%
貫井南分館	学習室A	4,255	2,575	61%
	学習室B	4,255	2,290	54%
	学習室C	4,255	2,045	48%
	視聴覚室	4,255	1,709	40%
	集会室A	4,255	3,029	71%
	集会室B	4,255	3,018	71%
東分館	学習室A	4,255	3,260	77%
	学習室B	4,255	3,227	76%
	家事实習室	4,255	1,595	37%
	生活室	4,255	2,141	50%
	視聴覚室	4,255	3,367	79%
	集会室A	4,255	3,293	77%
	集会室B	4,255	3,173	75%
	老人施設	4,255	3,029	71%
緑分館	学習室A	4,255	2,706	64%
	学習室B	4,255	2,615	61%
	学習室C	4,255	2,527	59%
	家事实習室	4,255	1,569	37%
	生活室	4,255	1,447	34%
	視聴覚室	4,255	3,327	78%
	レクリエーション室	4,255	3,500	82%
	研修室A	4,255	1,954	46%
	研修室B	4,255	1,715	40%
	研修室C	4,255	1,223	29%
	集会室A	4,255	2,361	55%
	集会室B	4,255	2,290	54%

⑦ 施設別 利用頻度（平成 23 年 9 月 20 日から同年 10 月 4 日までの 2 週間）

公民館の利用者アンケートにて、各施設の利用頻度を把握しました。

各施設とも週に 1 回以上利用していると答えた方が 50%以上を占めています。サークル団体での利用が中心であることを踏まえると、週 1 回以上開催されるサークル団体が公民館利用の過半を占めていることがわかります。

図 施設別 利用頻度のアンケート結果



(3) 運営状況

① 運営人員

公民館では、施設の管理や清掃はシルバー人材センターに業務委託しています。

全5館の一般職員、嘱託職員及び再任用職員数は延 19 人です。施設別にみると、本館が7人、分館が3人ずつとなっています。業務ごとの運営人員の内訳では、施設利用に関する受付・案内が6.6人、各種講座・講演会等の企画・開催は3.6人、施設維持管理等は4.6人、その他は1人となっています。

図 運営人員

(人)

			本館	本町分館	貫井南分館	東分館	緑分館	合計
施設利用に関する受付・案内	直営	一般職員	2.0	0.3	0.3	0.6	0.6	3.8
		嘱託職員	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	1.2
		再任用職員	1.0	0.3	0.3	0.0	0.0	1.6
	委託	シルバー人材センター	1.0	0.5	1.0	0.5	1.0	4.0
	計		4.0	1.4	1.9	1.4	1.9	10.6
各種講座・講演会等の企画・開催	直営	一般職員	1.0	0.3	0.3	0.6	0.6	2.8
		嘱託職員	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	1.2
		再任用職員	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.6
		企画実行委員	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	30.0
	計		7.0	6.9	6.9	6.9	6.9	34.6
施設維持管理等	直営	一般職員	2.0	0.3	0.3	0.6	0.6	3.8
		嘱託職員	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	1.2
		再任用職員	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.6
	委託	シルバー人材センター	1.0	0.5	1.0	0.5	1.0	4.0
	計		3.0	1.4	1.9	1.4	1.9	9.6
その他	直営	一般職員	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
		嘱託職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		再任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	委託	シルバー人材センター	0.0	1.0	2.0	2.0	2.0	7.0
	計		1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	8.0
合計	直営	一般職員	6.0	1.0	1.0	2.0	2.0	12.0
		嘱託職員	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	4.0
		再任用職員	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	3.0
		企画実行委員	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	30.0
	委託	シルバー人材センター	2.0	2.0	4.0	3.0	4.0	15.0
	計		15.0	11.0	13.0	12.0	13.0	64.0

② 運営体制

平日の運営体制は、昼間は市職員、嘱託・再任用職員や管理・清掃の委託先であるシルバー人材センターの職員が従事しています。17時15分以降の夜間に関してはシルバー人材センターの職員が受付・窓口等も行っています。

土曜日や日曜・祝日は、施設利用に関する受付・窓口業務を行っており、シルバー人材センターの職員で対応しています。

図 運営体制

	8:30	14:00	17:00	16:50	17:15	22:15
公民館本館 平日(月～金) 運営体制 1施設当たり 約9人						
公民館分館 平日(月～金) 運営体制 1施設当たり 約5～7人						
公民館本館・分館 土曜日の運営体制 1施設当たり 約2～4人						
公民館本館・分館 日曜・祝日の運営体制 1施設当たり 約1～2人						

④ コスト状況

公民館5施設の年間トータルコストは、2億1,703万円（1施設当たり平均4,341万円）です。内訳は、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託料等）4,513万円（約21%）、事業運営にかかるコスト（人件費・その他物件費等）1億5,889万円（約73%）、減価償却相当額1,301万円（約6%）となっています。

事業運営にかかるコストの内訳をみると、公民館の事業運営にかかるコストが1億3,867万円、主催事業にかかるコストが1,754万円、その他事業運営にかかるコストが266万円となっています。

表 施設別公共施設トータルコスト計算書（平成22年度）

（千円）

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】		本館	本町分館	貫井南分館	東分館	緑分館	合計	
施設にかかるコスト	修繕料	47	404	1,128	1,143	1,145	3,867	
	改修費	360	360	230	297	299	1,546	
	光熱水費	0	1,608	1,351	2,954	3,099	9,011	
	委託料	2,053	7,078	7,279	6,127	6,406	28,943	
	使用料及び賃借料	0	792	0	0	0	792	
	負担金補助及び交付金	43	0	0	0	0	43	
	その他物件費	414	248	205	23	41	930	
	施設にかかるコスト計	2,917	10,490	10,193	10,544	10,990	45,134	
事業運営にかかるコスト	公民館事業運営	一般職員人件費	60,321	10,054	10,054	20,107	20,107	120,643
		再任用職員人件費	3,515	3,515	3,515	0	0	10,545
		嘱託職員人件費	0	0	0	0	0	0
		委託料	0	0	0	0	0	0
		使用料及び賃借料	0	82	82	82	208	454
		負担金補助及び交付金	0	688	0	0	0	688
		物件費(臨時職員費)	0	0	0	0	0	0
		その他物件費	1,466	854	1,077	1,511	1,439	6,347
	公民館事業運営 小計	65,302	15,193	14,728	21,700	21,754	138,677	
	主催事業	一般職員人件費	0	0	0	0	0	0
		再任用職員人件費	0	0	0	0	0	0
		嘱託職員人件費	0	1,998	1,998	1,998	1,998	7,992
		修繕料	95	0	9	0	365	469
		委託料	0	0	0	0	0	0
使用料及び賃借料		1,353	404	384	408	581	3,130	
負担金補助及び交付金		12	12	12	12	12	60	
物件費(臨時職員費)	0	0	0	0	0	0		
その他物件費	2,763	550	682	832	1,070	5,897		
主催事業 小計	4,223	2,964	3,085	3,250	4,026	17,548		
その他事業	一般職員人件費	0	0	0	0	0	0	
	再任用職員人件費	0	0	0	0	0	0	
	嘱託職員人件費	1,059	360	360	360	350	2,489	
	物件費(臨時職員費)	0	0	0	0	0	0	
その他物件費	172	0	0	0	0	172		
その他事業 小計	1,231	360	360	360	350	2,661		
事業運営にかかるコスト 計	70,756	18,517	18,173	25,310	26,130	158,886		
現金収支を伴うコスト 合計		73,673	29,007	28,366	35,854	37,120	204,020	
【収入の部】								
収入	使用料収入	0	0	0	0	0	0	
	諸収入	527	148	267	277	473	1,692	
収入の合計		527	148	267	277	473	1,692	

II. 現金収支を伴わないもの

コスト	減価償却相当額	400	536	1,707	33	10,332	13,008
	不納欠損額	0	0	0	0	0	0
収入	収入未済額等	0	0	0	0	0	0

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	74,073	29,543	30,073	35,887	47,452	217,028
収支差額(ネットコスト)	73,546	29,395	29,806	35,610	46,979	215,336

事業運営にかかるコスト 1 億 5,889 万円の内訳をみると、一般職員人件費が 1 億 2,064 万円で事業運営にかかるコストの約 76%を占めています。

公民館事業運営にかかるコストは一般職員と再任用職員の人件費、機器等の使用料及び賃借料、その他物件費等がかかっています。主催事業にかかるコストは機器等の使用料及び賃借料や負担金及び交付金、物件費（嘱託職員費）、その他物件費がかかっています。その他事業運営にかかるコストは物件費（嘱託職員費）等がかかっています。

施設にかかるコスト 4,513 万円のうち、建物の維持管理にかかわる委託費が 2,894 万円と約 64%を占めています。施設の修繕費（387 万円）や改修費（155 万円）は施設にかかるコストの約 12%となっています。

施設別にみると、本館が 7,407 万円となっています。分館は本町分館の 2,954 万円から緑分館の 4,745 万円となっており、減価償却相当額を除くと分館 4 館に大きな差はありません。本館は分館と比べると一般職員人件費やその他物件費が多くなっています。

図 全施設トータルコスト（平成 22 年度）

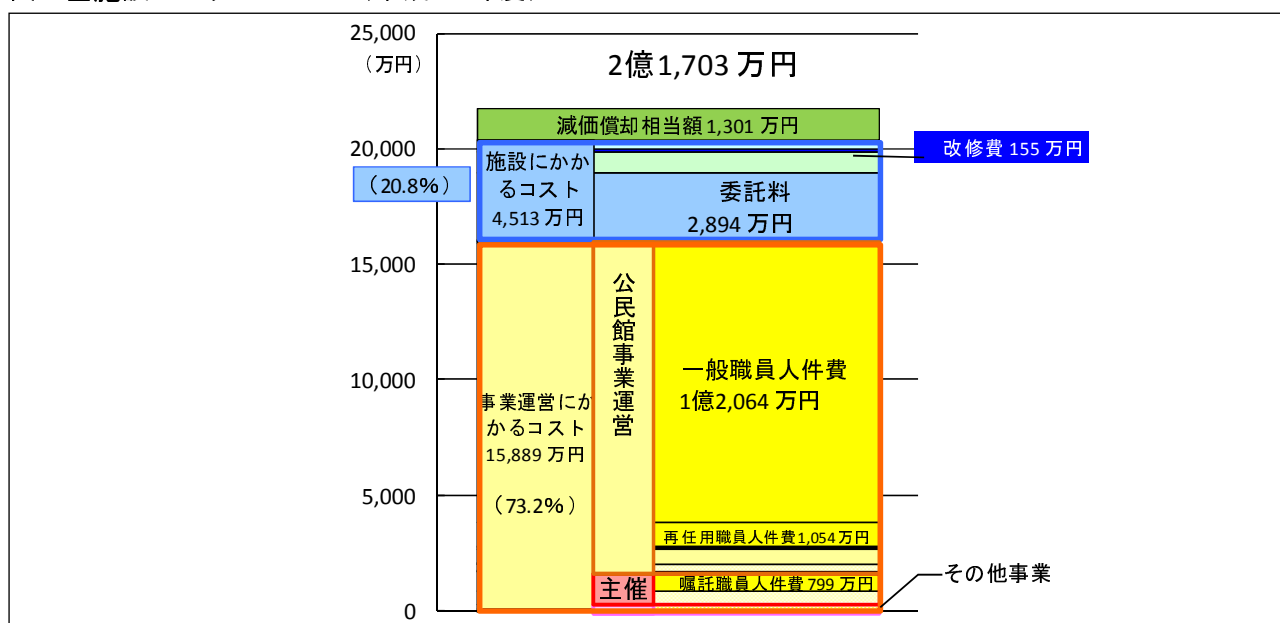
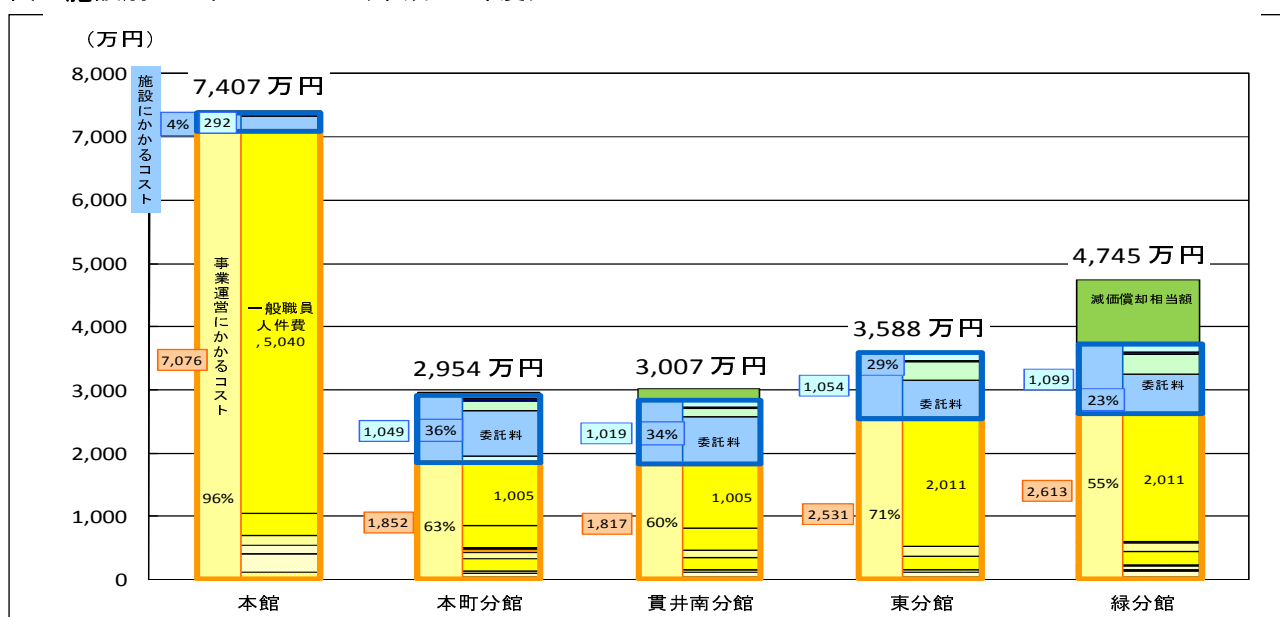


図 施設別トータルコスト（平成 22 年度）



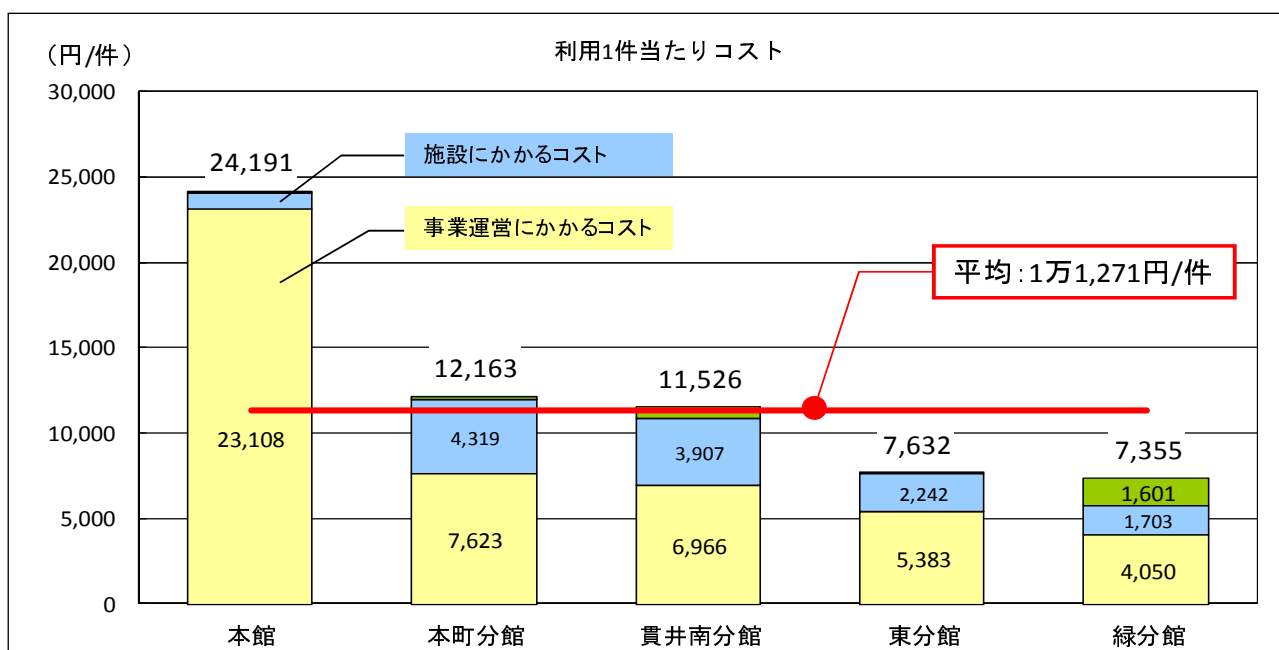
3. 評価・分析

(1) 利用件数とトータルコストの関係（利用1件当たりコスト）

年間利用件数とトータルコストから利用1件当たりにかかるコストを機械的に算出すると、平均は1万1,271円/件です。施設別では、本館が2万4,191円/件となっています。

分館では本町分館が最も高く1万2,163円/件、緑分館が最も低く、7,355円/件となっています。

図 施設別 利用1件当たりコスト

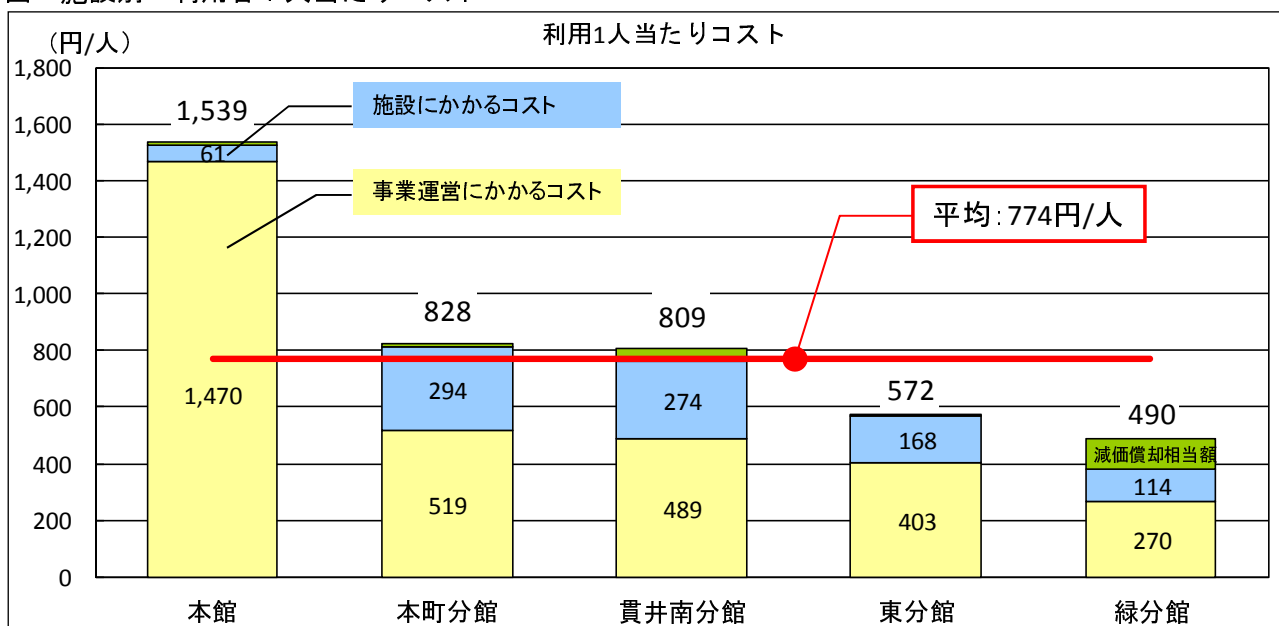


(2) 利用者数とトータルコストの関係（利用者1人当たりコスト）

年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを機械的に算出すると、平均は774円/人です。施設別では、本館が1,539円/人となっています。

分館では本町分館が最も高く828円/人、利用者数が最も高い緑分館が最も低く、490円/人となっています。

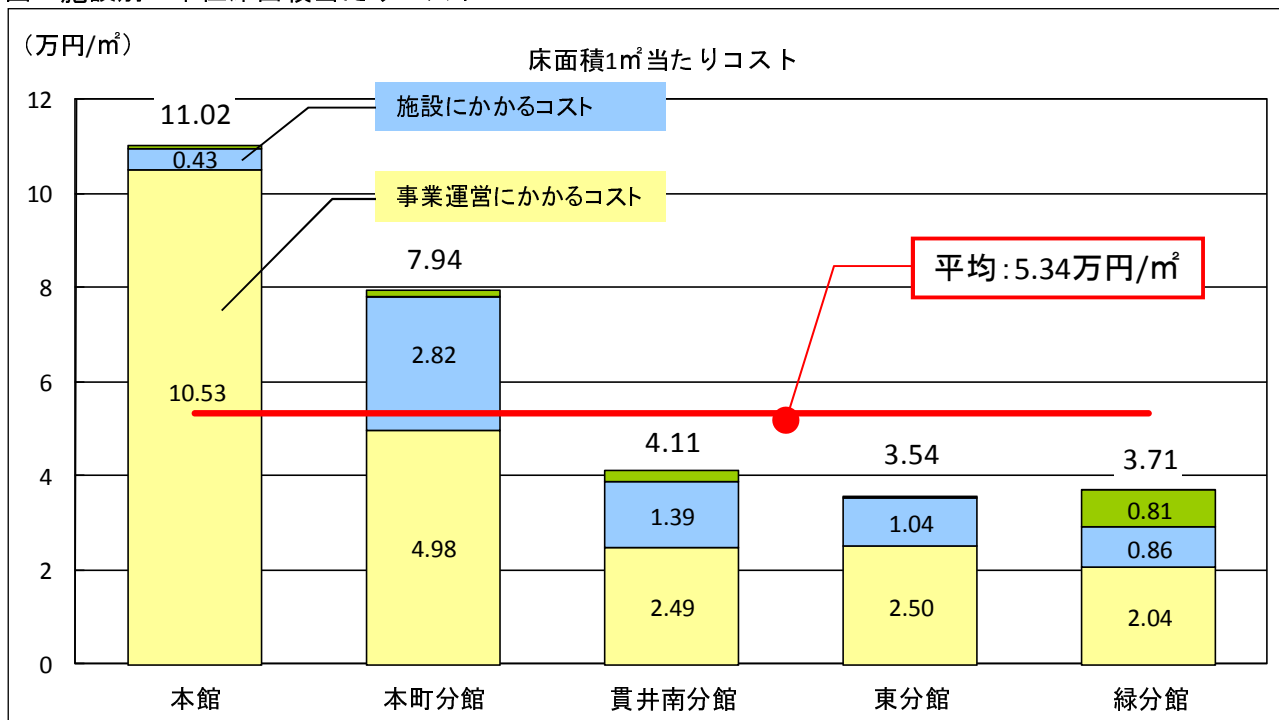
図 施設別 利用者1人当たりコスト



(3) 延床面積とトータルコストの関係（単位床面積当たりコスト）

延床面積とトータルコストから単位床面積当たりにかかるコストを機械的に算出すると、平均は5.3万円/㎡です。施設別では、本館は11.0万円/㎡です。分館では本町分館が最も高く7.9万円/㎡、東分館が最も低く、3.5万円/㎡となっています。

図 施設別 単位床面積当たりコスト



■ 今後の課題

建物の耐震安全性・老朽化状況からみた課題

- 本町分館は築 38 年を経過し、前回の大規模改修から 20 年以上を経過しており、施設内及び設備等の老朽化が進んでいます。平成 23 年度には耐震補強工事を行っていますので、今後 20 年以上利用していくためにも内部及び設備の老朽化対策が必要です。
- 貫井南分館は平成 20 年度に大規模改修を実施していますが、築 38 年を経過しており、今後も計画的な修繕等を行うことが必要です。

運営面からみた課題

- 平成 18 年度までの利用件数、利用者数が横ばいであることから、利用率約 60% 程度（平成 22 年度の全施設の平均利用率が 60%）が続いていることが分かります。アンケートの結果によると、各施設の利用の 50% 以上が週 1 回以上サークル団体等の活動で利用しており、利用者が固定化しています。今後高齢者（退職者）の増加に伴い、昼間地域内で過ごす人が増加することが予測され、新たに公民館を利用する人が増加することが考えられます。このような新たな利用ニーズに対応できるように、効率的・効果的な運用を行うことが必要です。
- 現在、本館と本町分館・貫井南分館、東分館・緑分館とそれぞれ運営人員等を調整し、施設規模や利用に沿ったコスト配分を行っています。利用者 1 人当たりにかかるコストに差が生じています。今後、更なる効率的・効果的な運営を行うことが必要です。
- （仮称）貫井北町地域センターが新たに建設されることによる利用状況の変化を詳細に把握し、市全体としての効率的な行政サービスを検討することが必要です。特に本町分館や本館等の利用の変化を把握することが必要です。